

島根原子力発電所第2号機 指摘事項に対する回答整理表(健全性)

| No. | 指摘日 | 資料の該当箇所 | | | | コメント内容 | 回答日 | 回答 | 資料等への 反映箇所 | 備考 |
|-----|-----------|-------------------|---------------|--|--------|--|----------|--|--|----|
| | | ヒアリング 資料番号 | 図書種別、 目録番号 | 図書名称 | 該当頁 | | | | | |
| 1 | 2022/5/12 | NS2-補-020改11 | 補足説明資料 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)＜環境条件の設定他＞ | P.1061 | 「漏えい上記」について、記載を適正化すること。 | 2022/7/5 | 誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)漏えい上記 (新)漏えい蒸気 | NS2-補-020改16「工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)」資料No.1の10. P.2(通し頁P.951) | |
| 2 | 2022/5/12 | NS2-補-020改11 | 補足説明資料 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)＜環境条件の設定他＞ | P.1065 | 「重大事故当時」について、記載を適正化すること。 | 2022/7/5 | 誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)重大事故当時 (新)重大事故発生時 | NS2-補-020改16「工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)」資料No.1の10. P.6(通し頁P.955) | |
| 3 | 2022/5/12 | NS2-添1-025(比) | 比較表(VI-1-1-7) | 先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-1-7 安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.1 | 廃棄物処理設備の改造内容を備考で説明すること。 | 2022/7/5 | サイトバンクに設置しているドレン配管の改造であることが分かるよう、備考に追記しました。 | NS2-添1-025改01(比)「先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-1-7 安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)」P.1.50 | |
| 4 | 2022/5/12 | NS2-添1-025(比) | 比較表(VI-1-1-7) | 先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-1-7 安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.27 | スロッシングによる燃料プール水位低下の影響に関する補足説明資料の該当箇所について、備考欄への記載を検討すること。 | 2022/7/5 | 備考欄に、スロッシングによる燃料プール水位低下の影響に関する補足説明資料の該当箇所を記載しました。 | NS2-添1-025改01(比)「先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-1-7 安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)」P.27 | |
| 5 | 2022/5/12 | NS2-添1-025(比) | 比較表(VI-1-1-7) | 先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-1-7 安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.35 | 「機器の健全性が確認可能な設備」について、先行電力と記載が異なることから相違理由の備考欄への記載を検討すること。 | 2022/7/5 | 先行電力との記載の相違理由を備考に追記しました。 ＜追記内容＞ 島根2号機では、「機能・性能確認、各部の経年劣化対策及び日常点検をすることにより、機器の健全性が確認可能な設備」を、分解・開放が不要な設備として記載している | NS2-添1-025改01(比)「先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-1-7 安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)」P.35 | |
| 6 | 2022/5/12 | NS2-添1-025(比) | 比較表(VI-1-1-7) | 先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-1-7 安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.19 | 重大事故等の波及的影響について、先行プラントとの差異含めて説明すること。 | 2022/7/5 | 重大事故等対処設備については、設計基準事故対処設備等と位置的分散等を図ることで自然現象に対して必要な機能を同時に喪失しない設計としていることから、島根2号機においては、自然現象を他の設備へ悪影響を与える項目としては選定しておりません。 なお、波及的影響に対する基本方針については、「2.3 環境条件等(4)」に記載先を示しております。 | NS2-添1-025改01(比)「先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-1-7 安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)」P.19 | |
| 7 | 2022/6/2 | NS2-補-020改13(補足6) | 補足説明資料 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.31 | 「緊急時対策書」の記載を適正化すること。 | 2022/7/5 | 誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)緊急時対策書 (新)緊急時対策所 | NS2-補-020改16「工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)」資料No.1の6. P.1(通し頁P.833) | |
| 8 | 2022/6/2 | NS2-補-020改13(補足7) | 補足説明資料 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.37 | *2について、「内外に2重に設置」だと内と外で2個ずつ設置しているように読めるため、記載の適正化を検討すること。 | 2022/7/5 | 内外に設置された両方のシール機能が同時に喪失した場合であることが分かるよう記載を適正化しました。 | NS2-補-020改16「工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)」資料No.1の7. P.4(通し頁P.839) | |
| 9 | 2022/6/2 | NS2-補-020改13(補足7) | 補足説明資料 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.47 | 電線貫通部の本数が内と外で違う理由を説明すること。 | 2022/7/5 | 所員用エアロックの内側扉と外側扉には共通して、表示灯及びリミットスイッチ用のケーブルが貫通しています。これに加え、外側扉には所員用エアロック内に設置する照明、電話、分電盤等に用いるケーブルが貫通しているため、所員用エアロックの内側扉と外側扉で電線貫通部の本数が異なります。 | - | |

| No. | 指摘日 | 資料の該当箇所 | | | | コメント内容 | 回答日 | 回答 | 資料等への 反映箇所 | 備考 |
|-----|----------|--------------------|---------------|--|-------------|--|----------|--|--|----|
| | | ヒアリング 資料番号 | 図書種別、 目録番号 | 図書名称 | 該当頁 | | | | | |
| 10 | 2022/6/2 | NS2-補-020改13(補足7) | 補足説明資料 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.35,45 | テフロン材の引張強度について、P35とP45で未照射材のパーセンテージの記載が相違しているため、記載の統一を検討すること。 | 2022/7/5 | 2項「放射線照射特性」は、積算線量による引張強度への影響が小さい範囲について説明しているものであることから、10°Gyを10°Gyに、20%を30%にそれぞれ見直し、記載を適正化しました。 なお、同様に別添資料4から読み取った数値を記載している4.2項については、それぞれの事象(通常運転時、設計基準事故時、重大事故等時)において想定される積算線量に対する引張強度の低下率を記載していることから、現状の記載のままとします。 | NS2-補-020改16「工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)」資料No.1の7.P.2(通し頁P.837) | |
| 11 | 2022/6/2 | NS2-補-020改13(補足7) | 補足説明資料 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.50 | 交換後のシール材の適用箇所がわかるよう記載を検討すること。 | 2022/7/5 | 構造図について、テフロン材使用箇所及び交換箇所が分かるように変更しました。 | NS2-補-020改16「工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)」資料No.1の7.P.15~17(通し頁P.850~852) | |
| 12 | 2022/6/2 | NS2-補-020改13(補足8) | 補足説明資料 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.62 | 「低圧炉心スプレイ系」の記載を適正化すること。 | 2022/7/5 | 括弧を追加し、「(低圧炉心スプレイ系)」に記載を適正化しました。 | NS2-補-020改16「工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)」資料No.1の8.P.5(通し頁P.864) | |
| 13 | 2022/6/2 | NS2-補-020改13(補足9) | 補足説明資料 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.138 | 改良シリンダへの取替の有無について文中での記載を検討すること。 | 2022/7/5 | 更なる安全性向上対策としてすべてのSRVシリンダを改良シリンダに取り替えることを踏まえ、記載の適正化を実施しました。 | NS2-補-020改16「工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)」資料No.1の9.P.29(通し頁P.940) | |
| 14 | 2022/6/2 | NS2-補-020改13(補足11) | 補足説明資料 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.164 | 原子炉水位計用凝縮槽の温度計について、補足11への追加可否を検討すること。 | 2022/7/5 | 原子炉水位計凝縮槽温度は自主対策設備であるため、補足11の表1及び表2に原子炉水位計凝縮槽温度を記載しました。 | NS2-補-020改16「工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)」資料No.1の11.P.9,15(通し頁P.1112,1118) | |
| 15 | 2022/6/2 | NS2-補-020改13(補足12) | 補足説明資料 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.175 | 格納容器酸素濃度(B系)及び格納容器酸素濃度(SA)について、図1への追加を検討すること。 | 2022/7/5 | 長期的な監視機能維持の説明にあたり、図1へ注記として格納容器酸素濃度(B系)及び格納容器酸素濃度(SA)を記載しました。 | NS2-補-020改16「工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)」資料No.1の12.P.3(通し頁P.1130) | |
| 16 | 2022/7/5 | NS2-補-020改16 | 補足説明資料 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)＜燃料プール監視カメラ用冷却設備を除く＞ | P.940 | SRVシリンダ、電磁弁を今回の停止期間中に取り替えることが分かるように記載を検討すること。 | 今回回答 | 逃がし安全弁のシリンダと電磁弁の改良型への取替を、今停止期間中に実施する旨記載しました。 また、シリンダと電磁弁の記載が整合するように、文章を適正化しました。 | NS2-補-020改22「工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)」資料No.9のP.29,37(通し頁P.57,65) | |
| 17 | 2022/7/5 | NS2-補-020改16 | 補足説明資料 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)＜燃料プール監視カメラ用冷却設備を除く＞ | P.858 | 図中において、積算線量依存性が低い範囲が分かるように記載を検討すること。 | 今回回答 | 積算線量依存性が低い範囲を図示しました。また、通常運転時、設計基準事故時、重大事故等時における積算線量に対するテフロン材の引張強度を図示しました。 | NS2-補-020改22「工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)」資料No.1のP.23(通し頁P.27) | |
| 18 | 2022/7/5 | NS2-他-119改01 | 回答整理表 | 島根原子力発電所第2号機指摘事項に対する回答整理表(健全性) | P.2 | No.10の回答について、補足説明資料P.847の「テフロン材の引張強度は未照射材の10%程度まで低下する」との関係性を踏まえた記載を検討すること。 | 今回回答 | No.10の回答に、引張強度の低下に関する記載の意図を追記しました。 | - | |
| 19 | 2022/7/5 | NS2-補-020改16 | 補足説明資料 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)＜燃料プール監視カメラ用冷却設備を除く＞ | P.1020~1025 | 室容積と熱容量の桁処理の保守性について説明すること。 | 今回回答 | 室温の上昇評価において、室容積及び熱容量は小数点1桁丸め(四捨五入)としていますが、室容積及び熱容量の小数点1桁は温度の計算結果に対して十分に小さい値であり、最終的な環境温度設定(原子炉建物原子炉棟地下エリア:100℃、RHARポンプ設置エリア:66℃、第1ベントフィルタ格納槽:60℃)の際に確保しているマージンに包絡されません。 | - | |

島根原子力発電所第2号機 工認記載適正化箇所(健全性)

| No. | 図書番号 | 図書名称 | 該当頁 (通し頁) | 適正化内容 | 提出年月日 | 備考 |
|---------------------------------------|------------------|--|---|--|-----------|----|
| No.1～No.147までは、NS2-他-119改01で整理済みのため省略 | | | | | | |
| 148 | NS2-添1-025改02 | VI-1-1-7 安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書 | P.41 | 以下の誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)号炉間 (新)号機間 | 2022/7/29 | |
| 149 | NS2-添1-025改02 | VI-1-1-7 安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書 | P.101 | 以下の誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)5号機原子炉建屋内緊急時対策所 (新)緊急時対策所 | 2022/7/29 | |
| 150 | NS2-添1-025改02(比) | 先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-1-7 安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.1.50 | サイトバンカ設備が共用設備であることが分かるよう、備考欄の記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)島根2号機は今回申請で廃棄物処理設備の改造(1号機廃炉に伴いサイトバンカドレンの移送先を2号機へ切替える改造)があるため記載 (新)島根2号機は今回申請でサイトバンカ設備(1, 2, 3号機共用)から発生する床ドレンの移送先を1号機から再稼働プラントとなる2号機へ切替える配管改造工事を行うため記載 | 2022/7/29 | |
| 151 | NS2-添1-025改02(比) | 先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-1-7 安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.35 | 他社との相違理由が分かるように備考欄の記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)島根2号機では、「機能・性能確認、各部の経年劣化対策及び日常点検をすることにより、機器の健全性が確認可能な設備」を、分解・開放が不要な設備として記載している (新)島根2号機では、「どのような設備が“分解・開放が不要なもの”に該当するかを明記している | 2022/7/29 | |
| 152 | NS2-補-020改22 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.72 | PCV中の環境条件(放射線)に関する記載に誤記があったため不要な記載を削除しました。(下線部参照) (旧)・RPVからPCV内へのFP放出はMAAP解析結果を参照したうえで、よう素及び中低揮発性核種についてはNUREG-1465を参考とした補正を行い、半球中心における線量評価結果(サブマージョンモデル)を設定 (新)・RPVからPCV内へのFP放出はMAAP解析結果を参照し、半球中心における線量評価結果(サブマージョンモデル)を設定 | 2022/7/29 | |
| 153 | NS2-補-020改22 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.134,137～140,142～145,149,150,153,154,156～158,160 | 「表1 熱バランスによる簡易計算にて環境条件を設定した対象」及び「表6 各エリアの評価結果と設定した設備の環境温度」について、評価エリアのフロアに関する誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)B1F:A-RHR ポンプ室, LPCS ポンプ室, RCIC ポンプ室 B2F:A-RHR ポンプ室冷却機室, HPCS ポンプ室冷却機室 (新)B2F:A-RHR ポンプ室, LPCS ポンプ室, RCIC ポンプ室 B1F:A-RHR ポンプ室冷却機室, HPCS ポンプ室冷却機室 合わせて表1, 表3-1～7, 表4-1～7, 表5-1～4, 図2-1～4, 図3-1～7, 表6の評価エリアの並び順を「B1F→B2F」から「B2F→B1F」に修正しました。 | 2022/7/29 | |
| 154 | NS2-補-020改22 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.134,141,143,144,147,151,155,159,160 | 同一エリアに対して複数のエリア名称(「RHARポンプ室」、「地下2階北側通路」)を使用していたため、「RHARポンプ設置エリア」に統一し、以下の図表を修正しました。 ・表1 熱バランスによる簡易計算にて環境条件を設定した対象 ・表3-9 評価する部屋の条件(RHARポンプ設置エリア) ・表4-3 室温評価用境界条件(C-RHRポンプ室) ・表4-5 室温評価用境界条件(RCICポンプ室) ・表4-9 室温評価用境界条件(RHARポンプ設置エリア) ・表5-5 評価において考慮する熱負荷(RHARポンプ設置エリア) ・図2-5 RHARポンプ設置エリア内の熱負荷 ・図3-9 RHARポンプ設置エリアの室温評価結果 ・表6 各エリアの評価結果と設定した設備の環境温度 | 2022/7/29 | |

| No. | 図書番号 | 図書名称 | 該当頁 (通し頁) | 適正化内容 | 提出年月日 | 備考 |
|-----|--------------|--|-------------------|--|-----------|----|
| 155 | NS2-補-020改22 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.142~147 | 「表4-1~9 室温評価用境界条件」の境界温度を100℃に設定しているエリアについて、条件設定の考えを明確化するため、当該壁面の備考欄に「原子炉建物原子炉棟地下エリア」である旨を追記しました。 | 2022/7/29 | |
| 156 | NS2-補-020改22 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.142~148 | 「表4-1~5, 9, 10 室温評価用境界条件」の地中との境界温度について、条件設定の考えを明確化するため、「地中の環境温度は、地表からの深さに応じた温度低下を考慮して設定した。」との注記を追加しました。 また、「表4-6~10 室温評価用境界条件」の壁面の方位の記載順序を「床→北→東→南→西→天井」に統一しました。なお、「表4-10 室温評価用境界条件(第1ペントフィルタ格納槽)」は壁面のエレベーションを考慮して、「床1→北1→東1→南1→西1→天井1→北2→東2→南2→西2→天井2」の並び順としました。 | 2022/7/29 | |
| 157 | NS2-補-020改22 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.144,154,157,160 | 「表4-5 室温評価用境界条件(RCICポンプ室)」のCRDポンプ室(原子炉建物原子炉棟B1F)との境界温度に関する誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)66℃ (新)100℃ 合わせて「図2-3 RCICポンプ室内の熱負荷」、「図3-5 RCICポンプ室の室温評価結果」及び「表6 各エリアの評価結果と設定した設備の環境温度」の評価結果を修正しました。(下線部参照) (旧)77.1℃ (新)82.8℃ なお、当該エリアの環境温度は余裕を見て100℃に設定していることから、設備の健全性評価に影響はありません。 | 2022/7/29 | |
| 158 | NS2-補-020改22 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.145,158,160 | 「表4-6 室温評価用境界条件(A-RHRポンプ室冷却機室)」の東及び西との壁厚に関する誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)東:壁厚1.2m, 西:壁厚2.2m (新)東:壁厚2.2m, 西:壁厚1.2m 合わせて「図3-6 A-RHRポンプ室冷却機室の室温評価結果」及び「表6 各エリアの評価結果と設定した設備の環境温度」の評価結果を修正しました。(下線部参照) (旧)63.6℃ (新)66.4℃ なお、当該エリアの環境温度は余裕を見て100℃に設定していることから、設備の健全性評価に影響はありません。 | 2022/7/29 | |
| 159 | NS2-補-020改22 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.145 | 「表4-7 室温評価用境界条件(B-RHRポンプ室冷却機室)」の隣接エリア名称に関する誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)天井:通路との隣接条件 (新)天井:1階通路との隣接条件 | 2022/7/29 | |
| 160 | NS2-補-020改22 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.147 | 「表4-9 室温評価用境界条件(RHARポンプ設置エリア)」の壁面の方位に関する誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)西:RCICポンプ室, 西:地中 (新)西1:RCICポンプ室, 西2:地中 | 2022/7/29 | |
| 161 | NS2-補-020改22 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.148 | 「表4-10 室温評価用境界条件(第1ペントフィルタ格納槽)」の境界温度について、「隣室の環境温度は、重大事故等時の温度上昇を考慮して設定した。」との注記を一律の様式として記載していましたが、当該エリアは重大事故等時の温度上昇が想定される隣室が存在しないことから本注記を削除しました。 | 2022/7/29 | |

| No. | 図書番号 | 図書名称 | 該当頁 (通し頁) | 適正化内容 | 提出年月日 | 備考 |
|-----|--------------|--|-------------------|--|-----------|----|
| 162 | NS2-補-020改22 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.149~152 | 「表5-1~3, 5, 6 評価において考慮する熱負荷」の配管からの発熱量について、系統名(配管)が複数記載される場合において配管種別が不明確であったことから、入口配管や出口配管等の配管種別に関する注記を追加しました。 また、「表5-5, 6 評価において考慮する熱負荷」の系統名(配管)の並び順を流路に合わせました。 | 2022/7/29 | |
| 163 | NS2-補-020改22 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.149 | 「表5-2 評価において考慮する熱負荷(C-RHRポンプ室)(a)配管からの発熱量」の系統名に関する誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)RHAR①, RHAR① (新)RHAR①, RHAR② | 2022/7/29 | |
| 164 | NS2-補-020改22 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.152,155,159,160 | 「表5-6 評価において考慮する熱負荷(第1ベントフィルタ格納槽)(b)配管からの発熱量」の誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)FCVS③ 口径:200A, 熱通過率:0.560, 総配管長:46700, 内部流体温度:120/109 FCVS④ 口径:300A, 熱通過率:0.780, 総配管長:123200, 内部流体温度:154/132 (新)FCVS③ 口径:200A, 熱通過率:0.580, 総配管長:46700, 内部流体温度:154/132 FCVS④ 口径:300A, 熱通過率:0.780, 総配管長:61200, 内部流体温度:154/132 FCVS⑤ 口径:300A, 熱通過率:0.760, 総配管長:62000, 内部流体温度:120/109 合わせて「図2-6 第1ベントフィルタ格納槽内の熱負荷」,「図3-10 第1ベントフィルタ格納槽の室温評価結果」及び「表6 各エリアの評価結果と設定した設備の環境温度」の評価結果を修正しました。(下線部参照) (旧)58.1°C (新)57.7°C なお、当該エリアの環境温度は余裕を見て60°Cに設定していることから、設備の健全性評価に影響はありません。 | 2022/7/29 | |
| 165 | NS2-補-020改22 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.153,157,160 | 「図2-2 C-RHRポンプ室内の熱負荷」,「図3-3 C-RHRポンプ室の室温評価結果」及び「表6 各エリアの評価結果と設定した設備の環境温度」のC-RHRポンプ室の室温評価について、「表4-3 室温評価用境界条件(C-RHRポンプ室)」にてRHARポンプ設置エリアとの境界温度を66°Cと設定しているにも関わらず、熱収支計算を40°Cで実施していたため、66°Cにて再計算し、評価結果を修正しました。(下線部参照) (旧)65.2°C (新)70.2°C なお、当該エリアの環境温度は余裕を見て100°Cに設定していることから、設備の健全性評価に影響はありません。 | 2022/7/29 | |
| 166 | NS2-補-020改22 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.229 | ・表内の被ばく評価結果に関する誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)約52mSv/7日間以下 (新)約51mSv/7日間以下 | 2022/7/29 | |
| 167 | NS2-補-020改22 | 工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書) | P.222 | インターフェイスシステムLOCA発生時の記載ということが分かるよう、以下の記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)・・・温度40°C程度、湿度100%程度となる操作(添付2)も一部あるが、 (新)・・・原子炉棟内操作で温度・湿度が最も高くなるインターフェイスシステムLOCA発生時は、温度40°C程度、湿度100%程度となるが(添付2)。 | 2022/7/29 | |